

記入例

職務経歴書

事務【福祉(経験者)】、事務【DX(経験者)】、技術【経験者】、保育士【経験者】

※この職務経歴書は、受験資格の確認のほか、職員採用試験の審査資料になることに留意し、ご記入ください。

勤務先 (部・課まで)	所在地 (市区町村まで)	具体的な職務内容と雇用形態 (正規、非常勤、派遣、契約、自営等)	試験 区分 (○/ー)	在職期間
最終(現在) 社会福祉法人 〇〇会 〇〇部〇〇課	〇〇県〇〇市 〇〇区	ケースワーカーとして 生活保護受給者の相談・援助業務 (雇用形態: 正規) (週 40 時間)	○	令和 4 年 4 月から 令和 7 年 6 月まで (3 年 3 ヶ月) ☒ 在職中 ☐ 退職
その前 〇〇株式会社 〇〇部〇〇課	〇〇県〇〇市	ケースワーカーとして 障害者の相談・援助業務 (雇用形態: 正規) (週 40 時間)	○	平成 30 年 4 月から 令和 4 年 3 月まで (4 年 0 ヶ月)
その前 〇〇株式会社 〇〇部〇〇課	〇〇県〇〇市	〇〇の営業業務 (雇用形態: 正規) (週 40 時間)	—	平成 26 年 4 月から 平成 30 年 3 月まで (4 年 0 ヶ月)
その前		(雇用形態:) (週 時間)		年 月から 年 月まで (年 ヶ月)
その前		(雇用形態:) (週 時間)		年 月から 年 月まで (年 ヶ月)
その前		(雇用形態:) (週 時間)		年 月から 年 月まで (年 ヶ月)
その前		(雇用形態:) (週 時間)		年 月から 年 月まで (年 ヶ月)
その前		(雇用形態:) (週 時間)		年 月から 年 月まで (年 ヶ月)
全ての職務経験年数期間(令和 7 年 6 月 30 日時点)の合計 (正規雇用として、1 年以上継続して就業した期間)				11 年 3 ヶ月
上記期間内で直近 10 年の内、試験区分に関する職務経験年数の合計 (平成 27 年 7 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日までに試験区分に該当する期間) <u>受験資格として、試験区分に関する職務経験年数の合計が通算 5 年以上必要</u>				内 試験区分 関係 7 年 3 ヶ月
この職務経歴書に記載した事項は全て事実と相違ありません。				
令和 7 年 7 月 12 日		(氏 名) 戸田 太郎		
【注意】記載事項に不正があると、戸田市職員として採用される資格を失うことがあります。				

※最終学校卒業から現在までの職歴について、もれなく記入してください。

※勤務先、部・課、職務内容が変わるごとに改行してください。

※書ききれない場合は、この職務経歴書様式をコピーするなどして使用してください。

※この職務経歴書は、戸田市職員採用試験以外の目的には利用しません。

※試験区分(○/ー)欄は、試験区分に該当する職務経験の場合は「○」、該当しない場合は「ー」と記入してください。